

2014年5月 外来種の駆除を行いました!!

みなさんこんにちは

弊社で毎年行っている田植え研修があるのですが、今年はお世話になっている恩返しもかねて畑の外来種駆除をおこなってきました。

さてさて、舞台となったのは、岐阜県恵那市岩村町富田地区(農村景観日本一の地)です。



恵那市岩村町富田位置図



農村景観日本一地区

農村景観日本一だけあって
農作物がたくさん収穫できそうだし、
空気もおいしいな〜♪



参加者には、農業体験型企業研修を運営・企画する(株)ハラキン様、恵那市役所 農林課 農業振興係様や、NPO 法人 農村景観日本一を守る会、富田営農組合様、そして弊社社員とご家族の皆様です。



(株)ハラキン 原社長



恵那市 小磯係長



弊社 加藤社長



参加者の皆さん (事前集会の様子)

皆で頑張ろう☆



駆除の対象とした外来種は「**ワルナスビ**」です。
ワルナスビ(北アメリカ原産、ナス科、多年草)は、明治時代に国内へ侵入してきました。

環境省で「**要注意外来生物**」に指定されており、旺盛な繁殖力で他の植物の成長を妨げる他、除草剤も効きにくく、一度生えると駆除しにくいので厄介者です。今回は、右(写真)の畑でワルナスビが発見されてしまったので、駆除を実施しました。



ワルナスビ



ワルナスビが発見された畑



駆除実施状況



地下茎の掘削状況

どこまで伸びてるのかな！？
ヨイショ！頑張れ！頑張れ！！



ワルナスビは、耕耘機などですきこむと、地下茎の切れっ端一つ一つから芽が出て独立した個体に再生し...、その結果以前より増えてしまう始末の悪さがありますので、しっかりと根茎まで掘削して駆除を行いました。



掘削した地下茎



①地表部(15cm 程度)

トゲがあり、ナスの苗に似ている

②新地下茎部(20cm 程度)

旧地下茎部から、新たに発芽したもので、地表に向かって伸びる
(この部分を除去しただけでは、駆除したことにならない)

③旧地下茎部(40cm 以上)

耕耘機等で畑を耕しても深部まで歯が届かず残ってしまう

最後に、今回の駆除活動によって驚くほどの効果は見られないかもしれませんが。

しかし、農村景観日本一地区の健全な植生環境を守っていく為に、そしてこの地を愛する行政や農家の皆様の力となるよう、我々はこれからも継続して活動を行って行きたいです。



駆除活動ご苦労様でした